

預言者ハガイの物語

新しい年になり「ああ希望の年」と思いたい。その思つのは正しいでしょう。ところがそのばかりは言つていられないのが現実だと思ひます。新しい希望など持てないといつわけです。そのうちに、希望を持つといつことも、忘れてゆくことがあるのが、現実の生活ではないでしょうか。その代わりに「あきらめる」とか「しんぼつする」といふこと、とても親密になつてしまひます。若者たちの、若者だけではなく、実年齢にも問題になつてゐるのが、今日かもしれません。無気力無主義といえるよつな世界が、教会の立つてゐる世界かもしれません。

聖書にも、こんな氣運が世の中を支配してゐた時代の出来事については何回も記録されてゐます。主イエスの誕生の時期がその頂点だつたのですが、今朝はその五百年以上前の出来事について、預言者ハガイの書からみてみましょう。

紀元前五百八十六年に、南ユダ王国は、バビロンによつて占領され、特にオビオンリーダーといわれるよつな人々は、沢山捕囚の民となり、バビロンに連行されてゆきました。バビロンの王ネブカドネツアルは、紀元前五百六十一年に亡くなり、そしてこのバビロンも、内部抗争の末、急激に力を増してきたペルシャに滅ぼされることになりました。ペルシャの王はクロスといつ人で、イザヤ書にも予言されてゐます。滅ぼされた年は、紀元前五百二十九年です。ペルシャはその政策として、被征服諸国に寛大な政策をとり、ユダヤ人に帰国を認め、神殿の再建を許可しました。

ところが問題なのですが、帰国したとはいへ、人々の生活は貧しく、その意識も衰へ、なかなか神殿の再建には力が入りませんでした。初めは希望と困難に直面しましたが、年月がたち、神殿の再建がなかなか進まないうちに、失意と絶望に直面することになります。分イが預言活動に着手したのは、紀元前五百二十年のことです。この年のことを説明するために、年を追つて出来事をみてきました。神殿再建着工から十八年ほどたつてゐます。ダビテ王の神殿などもつ出来ないと皆思つてゐました。しかし主は語られます。今、お前たちは「この神殿を、廃虚のままにしておきながら、自分たちは板ではつた家に住んでゐるのか。」(四)とあります。板張りといふのは、貧しいといふことではなく、自己本位の暮らしてゐることです。いまなら「庭付き一戸建て」でもいふことですが、ソロモン神殿(家と同じ言葉)さえ板張りでした。教会は「どうして」か、数年で諦めてしまふこと、ないでしょうか。

一、一、ダレイオス王の二年六月一日に、主の言葉が預言者ハガイを通して、ユダの総督シエアルティエルの子ゼルバベルと大祭司ヨツアタクの子ヨシユアに臨んだ。

一、二、主の言葉が、預言者ハガイを通して臨んだ。この民は、『また、主の神殿を再建する時は来ていない』と云つてゐる。

一、三、主の言葉が、預言者ハガイを通して臨んだ。この民は、『また、主の神殿を再建する時は来ていない』と云つてゐる。

一、四、今、お前たちは、この神殿を、廃虚のままにしておきなから、自分たちは板ではつた家に住んでゐるのか。

一、五、今、万軍の主は、この神殿を、廃虚のままにしておきなから、自分たちは板ではつた家に住んでゐるのか。

一、六、種を多く蒔いても、取り入れは少ない。食へても、満足することなく、飲んで、酔つてゐる。衣服を重ねても、温まることなく、金をかせぐ者が少ない。穴のあいた袋に入れるよつなものだ。

一、七、万軍の主は、この神殿を、廃虚のままにしておきなから、自分たちは板ではつた家に住んでゐるのか。

一、八、山に登り、木を切り出して、神殿を建てよ。わたしはそれを喜び、栄光を受けると、主は言われる。

一、九、お前たちは多くの収穫を期待したが、それはわずかであつた。しかも、お前たちが家へ持ち帰るとき、わたしは、それを吹き飛ばした。それはなぜか、と万軍の主は言われる。それは、わたしの神殿が廃虚のままであるのに、お前たちが、それ

ぞれ自分の家のために、走り回つてゐるからだ。

一、十、それゆへ、お前たちの上に、天は露を降らさず、地は産物を出さなかつた。

一、十一、わたしが干ばつを呼び寄せたので、それは、大地と山々と穀物の上に、新しいぶどう酒とオリブ油と、土地が産み出す物の上に、また人間と家畜と、すべて人の労苦の上に及んだのだ。

一、十二、主の言葉が、預言者ハガイを通して、彼らの神、主の御告に耳を傾けた。民は主を畏れ敬つた。

一、十三、主の使者ハガイは、主の派遣に従ひ、民に告げて言つた。『わたしはあなたたちと共にゐる。』と主は言われる。

一、十四、主が、ユダの総督シエアルティエルの子ゼルバベルと大祭司ヨツアタクの子ヨシユア、および民の残りの者すべてを奮い立たせられたので、彼らは出て行き、彼らの神、万軍の主の神殿を建てる作業に取りかかつた。

一、十五、それは六月二十四日のことであつた。

一、十六、七月二十一日に、主の言葉が、預言者ハガイを通して臨んだ。

一、十七、ユダの総督シエアルティエルの子ゼルバベルと大祭司ヨツアタクの子ヨシユア、および民の残りの者に告げなさい。

一、十八、お前たち、残つた者のうち、誰が、昔の栄光のときのこの神殿を見たか。今、お前たちが見てゐる様は何か。目に映るのは無に等しいものではないか。

一、十九、今こそ、ゼルバベルよ、勇氣を出せと、主は言われる。大祭司ヨツアタクの子ヨシユアよ、勇氣を出せ。國の民は勇氣を出せ、と主は言われる。働き、わたしはお前たちと共にゐると、万軍の主は言われる。

一、二十、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、二十一、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、二十二、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、二十三、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、二十四、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、二十五、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、二十六、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、二十七、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、二十八、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、二十九、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、三十、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、三十一、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、三十二、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、三十三、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、三十四、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、三十五、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、三十六、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、三十七、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、三十八、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、三十九、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、四十、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、四十一、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、四十二、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、四十三、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。

一、四十四、今こそ、お前たちがエジプトを出たとき、わたしがお前たちと結んだ契約がある。わたしの靈はお前たちの中にゐると、わたしは、お前たちを恐れてはならない。